

保健だより9月号

令和5年9月11日
武蔵中学校保健室

夏休みが明け、学校生活が始まりました。

放課後の合宿コンクールの練習が始まるなど夏休みの生活スタイルから学校用への切り替えが必要な時期です。十分な睡眠、休養、栄養をとりましょう。

また、佐賀県では新型コロナウイルスがまだまだ流行しており、県内の感染者数は772人です(R5.9.6時点)。継続して感染症対策も忘れずに行っていきましょう。



養護教諭ってどんなお仕事？

9月7・8日に2年生の職場体験が実施されました。体験を終えて感想を話してくれる生徒の中には、働くことのやりがいや厳しさを伝えてくれる子もおり、成長を感じるとともに、大人である私達も初心を忘れずに生徒達と接していきたいと思わせてくれました。

さて、今回は武蔵中学校の保健室がどのように機能しているのか、養護教諭（保健室の先生）がどんな仕事をしているのか、皆さんに紹介します！

8:00 出勤

- 1日の予定の確認
- 保健日誌の提出
- 登校直後の体調不良や、ケガの対応
- 水質検査



武蔵中の保健室へ
ようこそ



9:00 生徒対応・事務作業

- 保健室前の掲示物の整理
- 保健だよりの作成
- 日本スポーツ新興センターの手続き
- 来室記録 - 保健日誌 - 健康観察簿の確認
などなど事務作業はたくさん！

8:15 出欠確認・掃除

- 出欠確認
- トイレ紙・ペーパーや
ナプキンの補充等
- 全トイレの掃除の補助
- 保健室の掃除
- 備品の補充



13:00 生徒対応・事務作業

- 頭痛、腹痛、嘔気、
生理痛、怪我等の対応
- 早退者の保護者にお迎えの連絡をすることも
あります



12:30 昼食・昼休み

- 保健室で給食を食べる
(職員室で食べる学校も)
- 生徒対応



16:30 退勤

- 部活動でケガをした生徒の対応をする
こともあります

学校保健委員会について

学校保健委員会を9月5日（火）に開催しました。

学校保健委員会とは、子どもたちの健康を守り、よりよくしていくために、学校と学校医、家庭、地域社会、連携して子ども達の健康課題の解決を進めていく活動です。

学校医の先生方からいただいた意見をのせていますのでご覧ください。



学校医 古賀博美先生より



- ・**脊柱側弯症**は、内科検診のときに見ています。見つかるものは、軽度のものが多いので様子を見ます。しかし、他の病気につながることもあるので、**荷物を持つときに均等に負荷がかかるようにする、日頃の姿勢を気を付けることが大事**です。



※**脊柱側弯症**：脊柱を正面から見た場合に、左右に曲がっている状態のこと

学校歯科医 松屋謙一郎先生より

- ・2年生の欠席者数・来室者数が多いことに加えて、**歯こう・歯肉の改善が必要な生徒も2年生に多い**ようです。
- ・**生活習慣の改善**をすることで、歯磨きの余裕も出てくるのではないのでしょうか。



学校養育係 中屋保彦先生より

- ・10月31日（火）に薬物乱用防止教室を実施する予定です。身近に迫っている薬物について伝えたいと思っています。



手足口病ってなんだろう？

手足口病は、手、足および口唇粘膜などに現れる水疱性の発疹を主症状とする急性ウイルス性感染症で、乳幼児を中心に例年、主に夏季に流行します。

現在、佐賀県内での患者報告数は増加（64名→117名）していて、警報を発令しています（R5.9.6時点）。乳幼児だけでなく、大人にも感染します。

現在、予防できるワクチンはありません。



私達ができることってなんだろう？

1. 手洗いで感染予防に努める
2. 症状のある人とのタオルの共用は避ける



協力して感染予防に努めましょう